

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

○6月観光情報

【栗田美術館特集陳列 伊萬里焼の小品を楽しむ — 小皿・小鉢・茶碗 — 】

取皿や醤油皿など、使い方により様々な呼ばれ方をする小ぶりの皿と小さな鉢など日常の食卓に欠かせない器。一人ずつの膳で食事をとるという形式であった江戸時代、このような器は重要な食生活のアイテムだったようです。今回の特集では、俗に手塩皿ともよばれる小皿と、人気のそば猪口を含めた小鉢類、蓋付茶碗や湯呑茶碗など、50件余りをご鑑賞いただきます。

日 時:3月19日(土)～8月28日(日)まで

午前10時～午後4時30分(最終入場は午後4時まで)

休館日:月曜日(祝日の場合翌日)

休館日及び開館時間は変更する場合があります。

場 所:栗田美術館(駒場町)

入館料:一般1,250円(1,000円)、小・中・高500円(400円) ()内は20名以上の団体料金

交 通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅から徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より車で約15分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約20分

北関東自動車道足利ICより約20分

東北自動車道佐野藤岡ICより約15分

問合先:栗田美術館 ☎0284-91-1026

【物外軒茶室無料公開】(足利市指定文化財/国登録記念物)

この茶室は、もともと猿田の萬屋三代目 ちやう しろうぞう 長 四郎三氏によって、明治初期に渡良瀬川河畔の萬屋邸内に建てられました。この四郎三という人は、江戸にも聞こえるほどの豪商であったばかりではなく、漢詩、和歌、俳句、書画骨董の収集にも通じる教養人であったと伝えられています。

茶室は表千家不白流(おもてせんけふはくりゅう)の流れを汲むもので、木造平屋の切妻造(きりづまづくり)、三畳台目(さんじょうだいめ)の茶室と三畳の次の間、勝手、水屋からなり、建築に当たっては日本を代表する古筆鑑定家 古筆了仲(こひつりょうちゅう)の指導を受け、慎重を期したと言われてしています。

春の一日、この茶室に佇むと幕末から昭和にかけて栄えた足利屈指の豪商の奥座敷にタイムスリップしたかのような雰囲気を感じることが出来ます。

担当職員がおります場合は、お庭の解説等も受けられますので、お気軽にお声掛けください。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては中止や規模縮小もございます。

日 時:6月の第2日曜日 各日午前9時～午後4時

場 所:物外軒(通6丁目3165-2番地 織姫公民館北側)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約20分

JR両毛線足利駅より徒歩で約20分

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

北関東自動車道足利ICより約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより約40分

問合せ先:足利市文化課文化財保護・世界遺産推進担当 ☎0284-20-2230

【渡良瀬川あゆの解禁】

毎年多くの太公望が待ちわびている渡良瀬川のあゆ釣りが解禁となります。

悠々と流れる渡良瀬川で釣りをお楽しみください。

放流は160,000尾を予定しております。

日 時:6月5日(日)日の出から

場 所:渡良瀬川全域

(投網、掛け釣りにつきましては、期間、場所が違いますのでお問い合わせください。)

問合せ先:渡良瀬漁業協同組合 ☎0284-91-2361

【名草ホタルまつり】

足利市名草、名草川流域は、ほたるの保存と再生活動が評価され、平成元年に環境庁(現在は環境省)から「ふるさと生きものの里」として認定されました。

ゲンジボタルの乱舞のピークは、午後8時～午後9時頃で、蒸し暑く雨の降らない夜に多く見られるようです。

ホタルまつり期間中は例年売店が出て、地元の新鮮な野菜、かき氷、和菓子等の販売も行われ楽しくホタルを観賞することができますが、今年も新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、中止や規模縮小の可能性もございます。

日 時:毎年6月10日(金)から30日(木)まで(毎年同日開催・今年開催未定)

場 所:名草川沿い(名草町全般)

行 事:ゲンジボタルの鑑賞など

交 通:JR両毛線足利駅より車で約25分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約30分

北関東自動車道足利ICより約15分

カーナビ検索は、足利市名草下町752でご確認ください。

(この番地は個人宅です。ホタル観賞用駐車場は、この隣になっています)

問合せ先:名草公民館 ☎0284-41-9977

【吉祥寺あじさい弁天まつり】

あじさい寺と親しまれている吉祥寺では今年もあじさい弁天まつりが開催されます。

毎年多くの方が訪れ、催しや出店で賑わいます。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては中止や規模縮小もございます。

日 時:6月26日(日)(毎年6月第4土・日曜日/今年は26日のみの開催となります。)

午後1時より祈願・法要

場 所:吉祥寺(江川町)

行 事:現在調整中

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

交通:JR両毛線足利駅より車で約10分
東武伊勢崎線足利市駅より車で約15分
北関東自動車道足利ICより約10分
問合せ先:吉祥寺 ☎0284-42-6006

花情報

開花時期は、気候等により若干前後する場合があります。お問合せのうえお出かけください。

問合せ先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000
足利市観光まちづくり課観光・ロケツーリズム担当 ☎0284-20-2165

【ハーブ】

1,000㎡のハーブガーデンには、様々なハーブが育ち、その色と香りが楽しめます。
時期:5月～11月頃まで
場所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

【あじさい】

移り気な花といわれてしまうあじさいですが、一雨ごとに変わる花色の色合いを楽しめます。
時期:6月上旬～7月上旬
場所:織姫公園(600株、西宮町)・山前公園(700株、山下町)
中里城跡(福居町)・あしかがフラワーパーク(1,500株、迫間町)

【菖蒲】

時期:6月上旬～6月下旬
場所:あしかがフラワーパーク(200,000本、迫間町)

【あやめ】

時期:6月中旬
場所:山前公園(山下町)

【すいれん】

水辺の花の女王・熱帯性スイレン、紅・紫・白等の色鮮やかな花が涼やかに可憐に咲きほこります。
時期:熱帯性スイレン(6月下旬～11月下旬)
場所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

体験

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

【ブルーベリー】

期間は、6月上旬～8月下旬頃ですが、ブルーベリー園によって収穫期間が異なります。また摘み取り体験等につきましては事前に各農園ご確認ください。

- ・ブルーベリーファームすなが

☎0284-62-0266

- ・白髭農園

☎090-4011-7659(桑原)

- ・あしかがブルーベリー感動農園

☎090-3067-1301(井上)

【八木節】

日本三大音頭の一つとされている、足利の郷土芸能「八木節」の公演資料をご覧頂いたり、実演を楽しんだりしてみませんか。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前にご連絡をお願い致しております。現在、実演は中止。)

場 所:八木節会館(福居町)

内 容:八木節の公演等

料 金:足利市八木節連合会へご確認ください

交 通:東武伊勢崎線福居駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より車で約15分

北関東自動車道足利ICより約20分

東北自動車道佐野藤岡ICより約20分

問合せ:足利市八木節連合会 ☎0284-71-1214

また、太平記館では「観光八木節太平記館公演」として、足利市を訪れる観光客に、「八木節発祥の地・足利」を知っていただき八木節を通じて観光の振興を図るため、足利市八木節連合会の協力による八木節公演が行われています。

日 時:4月17日(日)～11月6日(日)の日曜日・祝日

午後2時～午後3時

場 所:太平記館南側駐車場(伊勢町3丁目6-4)

行 事:八木節公演

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約15分

JR両毛線足利駅より徒歩約10分

北関東自動車道足利ICより約10分

問合せ:観光八木節実行委員会(足利市観光まちづくり課内) ☎0284-20-2165